

21004 人間福祉演習Ⅱ g Seminar on Human Welfare II			4 年次 通年 4 単位
担当者	真鍋 守栄	履修可能学科	W必
		関 連 資 格	
サブタイトル	実践カウンセリング入門、人間理解のために part2		
授業内容 ・ ねらい	<目的>3年次につづき、テキストから知識を得ることと、ロール・プレイングなどの実習的な学習を通して、カウンセリングの基本的理解を進めます。また、カウンセリングの学習に限定せずに、自分を含めた人間理解を深めます。 <方法>①受講者の発表（テキスト、資料）と全員での討論。②ロールプレイング、構成的・非構成的エンカウンターグループ、などの実習的学習。③卒業研究（論文）に取り組む。		
授業計画	①テキストは「みる わかる 伝える」を使います。学生が順番にレポートをし、全員でディスカッションします。 ②実習的学習として、年間4回程度のエンカウンターグループ体験、および希望者にカウンセリングのロール・プレイングを行います。15分くらい、カウンセラー役の学生とクライアント役の学生が模擬カウンセリングをします。 ③卒業論文作成のために、研究の構想（4月）、途中経過（9月）を発表します。提出後の1月に発表会をゼミで行います。 ①②③を通して、人の言葉に耳を傾けること、自分の思いを（話すことで、書くことで）表現することを大事にしたいと思います。卒業論文も義務としてではなく、（必修ではないですが、私は取り組むことを求めます）、大学生活を締めくくる自己表現の機会として、積極的に取り組みましょう。		
教科書 参考書	教）畑村「みる わかる つたえる」講談社。受講する学生の人数を確認して、真鍋が一括注文します。		
評価方法	平常点（出席、参加姿勢）とレポート		
事前準備学習 履修条件等			